

廃校を地域活性化の拠点施設として 利用

—体験学習と教育機能—

農業法人（株）秋津野、農業法人（株）きてら



小学校の旧校舎を利用した多目的施設の「秋津野ガルテン」

（株）秋津野は、小学校として使われてきた校舎を農産加工所、レストラン、宿泊、会議や実習・交流の場などとして再利用し、市民農園、みかんの樹オーナーなどの農業体験、宿泊施設の運営、農家レストランなど、地域農業を活かしたグリーン・ツーリズム事業を展開。

また、（株）きてらは、地域住民の出資により設立され、地元農家が道路沿いに開設していた直売所「きてら」を新築移転、店舗拡大し、併設するみかんジュース加工施設の運営、秋津野ガルテン内にある加工体験施設の運営及び農家レストランでの食材となる野菜・柑橘を提供。



和歌山県田辺市

〔体験学習と教育、保健休養〕

秋津野ガルテンが自ら管理する市民農園、みかんの樹オーナー、農家民泊による農家生活を通じての交流や体験、田舎暮らしの支援など地域にある資源を活かした取組を実施。

また、地元上秋津小学校で各学年を通じて行われる農業体験カリキュラムの作成など、体験を通じて地域農業や食べ物への理解を深めるなど、郷土愛の醸成につなげている。

〔伝統文化の継承、地域社会の振興〕

都市農村交流の拠点施設として、木造校舎の保存、農家レストラン「みかん畑」での郷土料理の提供、熊野古道（中辺路）の山村文化をつなぐ役割を継続、地域活性化につなげている。



小学校のカリキュラムで行われるみかんの収穫



みかんの選別体験



市民農園での耕起作業



市民農園での作業



オープンテラスのある農家レストラン「みかん畑」



「みかん畑」で提供される郷土料理



農家民泊の前で

《秋津野ガルテン》 <https://agarten.jp/>